２　　目　標　達　成　計　画

事業所名　　グループホーム第二ほたる家
作成日　　平成２５年１２月２９日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　　標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災などの災害時の協力者への依頼を行っているが、実際に応援できそうな方に訓練参加して頂いていない	火災訓練時に、日中・夜間など実際に協力できる方へ依頼し、火災訓練に参加して頂き有事に備え準備する	今年度中に次年度の計画を策定 ５月：昼間を想定し近くのローソン・農機具工場・公民館に依頼し避難・救出の応援依頼 ７月：夜間想定し、消防団に依頼し避難・救出の応援依頼 １０月：夜間想定し法人職員へ連絡網を回し近くの職員に協力依頼を行う	２６年１０月まで
2	54	各ご利用者の居室にご本人らしい空間の工夫が足りない	ご本人のこれまで生活された部屋などを確認し、ご本人の意向を聞いて、居心地の良い空間に変更する	各担当の職員が１月中にご家族に依頼し、ご自宅を見せて頂き写真を撮ってくる。 ２月にホームに持ち込めるものを確認しご本人と一緒にホームへ持ち込み、部屋の模様替えを行う。自宅にある写真等をホームに持ち込みご家族に聞きながらコメントを付けてアルバムにする。	２６年４月まで
3	20	馴染の方の訪問が少ない	それぞれのご利用者の馴染の方がホームを訪問して頂けるような環境を作る	２月までに各担当がご本人に会いたい人を確認する。また、家族に仲の良かった近所の方やお友達がいなかったか確認する。 ３月：会いたい人やお友達に連絡を取る。 ４月：各ご利用者の会いたい人やお友達をホームに誘う。 年間活動として、地域の入居者のお友達や地域の一人暮らしや日中独居の高齢者の集いの場になる様におやつ作りやレクレーションなど毎月お茶会を実施する。	1年間を通して
4	33	終末期に向けた対応の準備が出来ていない	終末期に向けてスタッフの対応の準備が出来る	看取りに関する研修会を毎月実施する 奇数月：看護より 偶数月：介護より 重度化や看取りが必要な方を受け入れる準備を行う	1年間を通して

注１）項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注２）項目数が足りない場合は、行を追加すること。